

平成 18 年 8 月 8 日

会社名 **株式会社 CSKホールディングス**  
 代表者名 代表取締役社長 福山 義人  
 問合せ先 執行役員経理部長 熊崎 龍安  
 電話番号 03-6438-3030  
 (コード番号 9737 東証 第一部)

## 平成 19 年 3 月期 第 1 四半期決算の要旨

### ◆ 決算ダイジェスト

1. 平成 17 年 10 月以降のホールディングス体制のもと、第 1 四半期は予定通りに推移し、**第 1 四半期の営業利益～四半期純利益で過去最高益を更新。**
2. **金融サービス事業の増収・増益が、連結業績に貢献。**
3. **ASPサービス及びコンタクトセンター関連分野も順調に拡大しており、情報サービス事業における成長基盤として実績を積上げる。**

### ◆ 前年同期比サマリー

(単位:億円)

|        | 2005/6 | 2006/6       | 前年同期比増減 |         |
|--------|--------|--------------|---------|---------|
|        |        |              | 増減額     | 増減率     |
| 売上高    | 501.0  | <b>584.9</b> | 83.8    | +16.7%  |
| 営業利益   | 30.2   | <b>104.6</b> | 74.4    | +245.7% |
| 営業利益率  | 6.0%   | <b>17.9%</b> | +11.9%  | -       |
| 経常利益   | 33.0   | <b>107.3</b> | 74.3    | +225.3% |
| 四半期純利益 | 33.9   | <b>56.2</b>  | 22.3    | +65.9%  |

#### 売上高 及び 営業利益 :

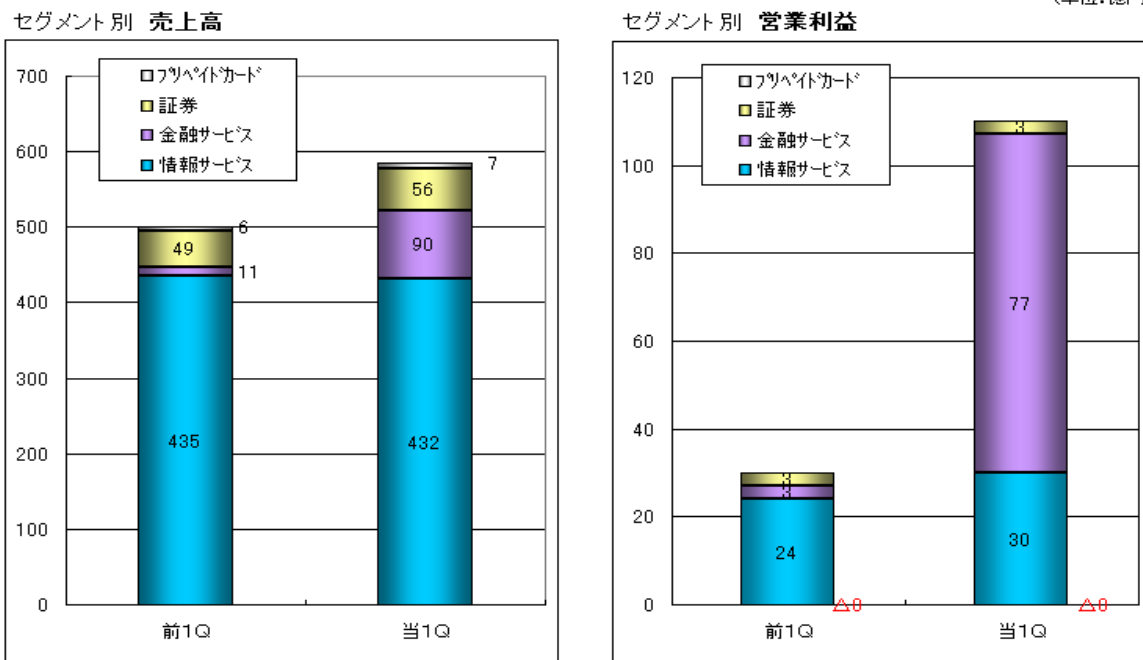
- ・売上高は、金融サービス事業及びBPO関連事業が順調に拡大したこと等により、584.9 億円（前年同期比 83.8 億円（16.7%）の増収）となりました。
- ・営業利益は、金融サービス事業の増収に伴う増益、BPO関連事業の増収及び収益性の向上等により、104.6 億円（同 74.4 億円（3.4 倍）の増益）となりました。

#### 経常利益 及び 四半期純利益 :

- ・経常利益は、107.3 億円（前年同期比 74.3 億円（3.2 倍）の増益）となりました。
- ・四半期純利益は、経常利益に特別損益及び税金等が加わり、56.2 億円（同 22.3 億円（65.9%）の増益）となりました。

## ◆ セグメント別 業績（連結）

（単位：億円）



※上表には、消去及び全社は含まれておりません。

### <情報サービス事業>

- 売上高は、ASP及びコンタクトセンター等のBPO関連売上は順調に拡大しましたが、機器販売が減少したこと等から、売上高全体では、432.2億円（前年同期比3.1億円（△0.7%）の微減）となりました。
- 営業利益は、既存の情報サービス事業の収益性及び更なる健全性向上、新たなビジネスモデルの構築に注力したこと等から、30.9億円（同6.8億円（28.3%）の増益）となりました。

### <金融サービス事業>

- 金融サービス事業では、各種の投資事業等が順調に推移したことから、前年同期比は増収・増益となりました。

### <証券事業>

- 売上高は、コスモ証券において、アナリストによる情報提供の拡充、提案型営業の積極推進、新規株式公開における引受等により、56.6億円（前年同期比7.4億円（15.1%）の増収）となりました。
- 営業利益は、株式売買代金の増加に伴う取引関係費及び人件費等の販売費及び一般管理費が増加したことにより、3.1億円（同0.5億円（△14.4%）の減益）となりました。

### <プリペイドカード事業>

- 新たな販路の開拓や導入顧客の増加により、売上高は7.2億円（前年同期比0.3億円（5.8%）の増収）、営業損失0.4億円（同0.1億円の改善）となりました。

## ◆ 連結業績予想

平成19年3月期の連結業績の見通しについては、平成18年5月9日に公表した業績予想からの変更はなく、以下のとおりであります。

売上は、顧客企業のIT投資が活況に推移する見通しであることにより、情報サービス事業が増収になる見通しであります。

営業利益及び経常利益は、情報サービス事業においては、BPO関連事業の拡大、収益性の改善が進むこと等から、大きく増益になるものと考えております。また、金融サービス事業及び証券事業が引き続き安定的に収益貢献し、営業利益全体では、35.3%の増益となる見通しであります。経常利益についても、営業増益に伴い29.7%の増益となる見通しであります。

当期純利益は、前期において保有資産の流動化による特別利益を計上いたしましたが、平成19年3月期は多額の特別利益は想定していないこと等の理由により、減益となる見通しであります。

(単位:億円)

|       | 2005/3  | 2006/3  | 2007/3<br>予想 | 前期比増減  |        |
|-------|---------|---------|--------------|--------|--------|
|       |         |         |              | 増減額    | 増減率    |
| 売上    | 3,199.9 | 2,411.5 | 2,600.0      | 188.4  | +7.8%  |
| 営業利益  | 240.4   | 251.3   | 340.0        | 88.6   | +35.3% |
| 営業利益率 | 7.5%    | 10.4%   | 13.1%        | +2.7%  | -      |
| 経常利益  | 276.2   | 269.8   | 350.0        | 80.1   | +29.7% |
| 当期純利益 | 333.4   | 308.7   | 180.0        | △128.7 | △41.7% |

以上